

砂川・三笠分署化 反対の署名を提出

地元5市町長

H27.11.21 道新

空知、上川管内の一部の
中小規模警察署を、隣接す
る警察署の分署とする方向
で道警が検討している問題
で、対象となっている5署
のうち、砂川署と三笠署の
地元5市町の首長らが20

日、道警本部に住民の反対
署名を提出し、計画の白紙
撤回を求めた。

道警は砂川署を滝川署
の、三笠署を岩見沢署のそ
れぞれ分署とする方針を地
元自治体に説明している。
刑事部門や留置場を隣接署
に移すことで、砂川は55人
の署員がほぼ半減、三笠は
28人の署員が3分の2程度

になる見通し。

署名は砂川署管内（砂川
市、空知管内奈井江町、上
砂川町、浦臼町）で2万2
103筆、三笠署管内（三
笠市）で7596筆を集め
た。いずれも人口の7～8
割に相当する。

署名の提出は非公開で行
われ、砂川市の善岡雅文市
長は、応対した宮腰憲章・

札幌市警察部長兼警務部参
事官に「統合は突然の話で
住民に説明がつかない。も
っと管轄人口が少ない署も
あるのになぜ砂川なのか。
統合の利点ばかり説明し、
欠点を言わないのはおかし
い」と訴えた。砂川市によ
ると、宮腰参事官は「4、
5年先をめぐりに計画通り進
めていきたい。住民には今
後説明していきたい」と応
じたという。三笠市の西城
賢策市長も白紙撤回を求め
る要望書を提出した。

分署化は沼田署、夕張署、
美深署でも検討されている
が、いずれも地元で反対運
動は起きていない。